

第4回神原中学校区地域協議会会議録

1. 開催の日時及び場所

令和8年2月17日（火）18：30～19：30
市役所本庁舎 3階 防災情報センター

2. 傍聴者

なし

3. 出席委員 12名（欠席委員1名）

4. 次 第

（1）開会

（2）議事

- 1 中学校区再編に向けての課題と対応の方向性について
- 2 琴芝小、神原小児童数の推移について

【地域の状況について】

（会 長）：それでは、議事（1）「中学校区再編に向けての課題と対応の方向性について」、事務局から説明をお願いします。

（事務局）：（「中学校区再編に向けての課題と対応の方向性について」資料に基づき説明）

（会 長）：事務局から説明がありました。これは今年度、委員の皆様方と協議してきた課題に対する対応のまとめになります。中学校区の再編では、学校選択区域の方々には、一定の配慮を行いながら、また個別にも対応していただけるとのことです。委員の皆様でもう少しこの中学校区再編の課題などについて、何か伺いたい方がおられましたら、ご意見をいただきたいと思えます。何かご意見・ご質問等がありますか。

<意見等なし>

（会 長）：概ね、委員の皆様からいただいた意見が反映された形になっているのではないかと思います。では、次に議事（2）の「琴芝小、神原小児童数の推移について」、事務局から説明をお願いします。

（事務局）：（「琴芝小、神原小児童数の推移について」資料に基づき説明）

（会 長）：今、子どもの数の推移についても説明が事務局からありました。ここ数年で、年々減少傾向ではありますが、この状況も踏まえて、委

員の皆様から何かご意見・ご質問等がありますか。

(委員) : 琴芝小の令和8年の入学予定者は、54名と伺っていたのですが、最終的には、28名になり、減少した理由についても選択学校制を利用して選択学校に就学された方や、転出などの要因が考えられるのではないかと、教職員とも話はしていました。

(事務局) : 現状は、神原小が33名、琴芝小が28名の入学予定となっています。それから、先ほどの説明の際に、画面に表示されていた琴芝小の令和8年度新入生の学級数が「2」となっていました、「1」の誤りですので、訂正をさせていただきます。学校選択制が廃止になることで、令和8年度入学予定者には中学校の進学先が、神原中になる旨のお知らせも行っています。入学予定者の中には、選択区域にお住まいの方が14名おられました、そのうち、10名の方が、学校選択制を利用されています。内訳の詳細までは分析はできておりませんが、兄弟姉妹の関係があるのかもしれませんが。結果として、まだ学校選択制を利用される方が多いという状況にはなっています。そのため、入学予定者については、当初の見込数より減少したものと考えています。

(会長) : まだ、学校選択制が利用できる間は、この状況が続く感じですか。

(事務局) : 兄弟姉妹がおられれば、進学先は同じにしたいと思われる保護者は多いと思います。学校選択制廃止後も急激に児童数が変化することはないと思いますが、徐々には変わっていくと推測しています。ただ、児童数の絶対数もお示ししたとおり、年々減少していく予測となっていますので、学校選択制廃止などの理由に関わらず、児童数は減少していきます。

(会長) : 今、説明がありましたが、学級数が1学年1学級は、寂しく感じます。この現状を地域の多くの皆さんに知っていただくことが大きな課題になるかもしれません。私自身も児童数が減少していく認識はありましたが、実際に数字で見ると結構な減少推移に驚いているところです。

(委員) : 資料2の児童数と現状の在籍児童数を比べると、多少差異があるように感じますが、いかかですか。

(事務局) : お示しした資料については、令和7年4月1日時点のものになりますので、多少差異が生じているかもしれません。また新年度になりましたら、新しい数字をお示ししたいと思います。ただ、基本的には児童数は減少傾向にあると思います。マンションなどの建設や宅地造成などがあれば、また違う状況になるかもしれません。

- (委員) : 第2回の協議会資料で、3小1中の施設一体型小中一貫校が令和19年度に開校する計画がありましたが、それまでに、児童数や学級数の減少が、かなり進んでいくように感じています。やはり、学校の教育活動としては、児童数や学級数が多い方が、教育活動はしやすいのですか。もし、そうであれば、この3小1中の施設一体型小中一貫校まで、かなり長く待たないといけないと思います。小規模校でも、大規模校と変わらず、教育活動は行えるものですか。
- (事務局) : 単学級の学校と複数学級の学校での教育活動の違いについてですが、これは、どちらが良い、悪いということではないと考えていますが、複数学級など学校に児童数が多ければ、行事など行う場合も勢いはありますし、盛り上がることもあると思います。多様な活動が補償され、多様な出会いもあると思います。そういった面では、やはり一定数の児童数があれば、その教育活動に適していると考えます。ただ、小規模校では、大規模校にはないきめ細やかな個に応じた教育が出来るといった可能性は高まってくるのではないかと考えています。今行われている琴芝小や神原小の教育の現状を維持したいということになると一定の児童数は必要になってくると思います。
- (会長) : どちらの学校も一長一短あると思います。現在は、琴芝小も神原小もある程度の児童数はいますが、この資料では、令和13年度までの予測が出ていますが、令和19年度頃には、どうなっているのかと心配するところではあります。このような現状を我々委員が、まず、よく把握していく必要があると思います。
- 今回の協議会は、今年度最後の協議会になります。各委員の皆様から、これからの思いや感想、今後の課題など何でも構いませんので、ご意見を頂戴できればと思います。
- (委員) : 私は、琴芝1区から1-10区の地域に住んでおまして、現在では、子ども達の約9割が、恩田小に通学している地域です。子ども達は、この学校選択制にそこまでの認識はないように感じますが、保護者の方は、恩田小から常盤中への思いがあるように感じています。地域では、現在のところ、この中学校区再編に向けても大きなトラブルは聞いていませんので、現状は、この再編計画も順調に進んでいくのかではないかと感じていますし、順調に進めていけるよう協力していきたいと思っています。
- (委員) : 私は、赤ちゃん訪問に行っても、今年に関して私の認識では、琴芝1-5区在住の方に赤ちゃんがおられ、琴芝全区でみても4人くらいしか把握していません。この先のことを考えれば、早く琴芝、神

原と一緒にの方がいいのではないかとも思っています。

(委員) : 今日会議で今後、子どもの数がこんなに減っていく状況に改めて驚きました。難しい問題ではありますが、もっと子どもの数が増えていけばいいなと思っています。

(委員) : 自分の地域では、結構新築も建ってきており、若い方が住まれて、地域では子どもが増えているように感じます。何とか若い世代が多く住んでくれる地域作りも大切と思っています。

(委員) : 私は、先ほども懸念事項で挙がっていました学校行事の重複についてですが、学校では教務主任が集まって、令和9年度の運動会、参観日等が重複しないよう調整している段階です。それから交流学习については、神原小、見初小、琴芝小で交流を持っていく計画は立てましたので、お伝えしておきます。そして、児童数が減少していく予測なら、早く一緒になればいいのではとのご意見もあり、そうなることが1番理想かなと思うところもありますが、事務局からもありましたように、複数学級、単学級にはそれぞれ良い所があって、単学級では、きめ細やかな対応ができるし、何事に対しても動きは早くなるなど良い所もあります。しかしながら、子ども達のことを考えると、友達間でトラブルが起きた場合などは、なかなか逃げ場が無いのかなと感じるところもあります。単学級の場合は、担任もそうならないように気を配りながら、学級経営をしていくことになると思います。この協議会でも色々意見を頂いていますが、ハード面や教員のことを考えると先行して一緒になることは、なかなか難しいのかなと思っています。現状では、単学級になれば、様々な問題にも気を付けながら、学校経営を進めてかないといけないと思っています。

(委員) : 神原中、上宇部中、神原小、琴芝小、見初小の教務主任に集まっていたいただいて、令和9年度の学校行事については、概ね重複しないような調整は出来ています。ただ、参観日等については、そこまでの調整は出来ておりませんので、こちらについては、来年度の懸念事項と考えています。併せて、神原中学校学校運営協議会においては、会長とも相談しながら、琴芝小校長と琴芝小学校運営協議会会長には、来年度からの神原中学校学校運営協議会の委員に入っていたいただき、学校のことを知っていただく取組みも出来たらと考えています。何より、神原中学校が魅力ある学校になっていくことが1番だと考えていますので、そのあたりに力を入れていこうと考えています。

(委員) : 色々とお話がありましたが、子どもの数は減少傾向ではありますが、

少なくなった場合のやり方も様々考えられると思いますし、その時の1番いい形が築けていければ良いのではないかと思います。私は小規模校勤務が多かったですが、小規模校は、子ども一人一人が活躍する場が多くありますし、自己肯定感が高まる場面も数多くあると思っています。先ほどからお話があったように、来年度から琴芝小と神原小の連携活動も進めていきたいと思っています。

(委員) : 私は、この場で、皆様方と一つ一つの課題を考えて、市事務局が、それに対応する方向性を示していただき、協議出来たことは、委員としてよりも親として、有難いなと思っています。子ども達は宇部市の宝だと思っていますので、来年度も良い会議になるよう協力していきたいと思っています。

(委員) : 私は、今の小学校の6年生にすごく元気を感じており、子どもが中学校に進学したら、ジュニアリーダーという形で、子ども会にも携わりたと言われ、周りにも同調を考える子どもも多く、さらに中学校に進学したのちは、別の小学校から進学している子ども達も誘いつつ、良い形で子ども会を盛り上げていけたらと子ども達とも話をしています。色々な形で関わっていければと思います。

(委員) : 私は今日、神原ふれあいセンターで、赤ちゃんサークルを行ったのですが、12組程度いた中で、神原地区は1組だけと少なく、寂しい気持ちにもなりました。現状から予測すると子ども達が増えていく傾向にはありませんが、委員皆さんの意見も参考にしながら、一緒に今後の学校を考えていきたいと思っています。また、市事務局には、兄弟姉妹への配慮については、柔軟に対応してくださることで、それについては、非常に良かったと感じています。

(委員) : 現在、中学校では、神原小、見初小卒業生と一緒にボランティアで、神原ふれあいセンターに来てくれます。再来年度からは、今度は琴芝小の子も加わりますので、神原地区の行事でも一緒に盛り上げていきたいと思っています。私は、神原で行事がある時は、パンフレットなどをお渡しして、小学生も参加していいですよとお伝えしているところですが、やはり地域同士でも仲良くしていかないと、「学校だけは一緒になる」は無理だと思います。出来れば、地域の活動なども一緒に出来るよう考えていかないといけないと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思っています。

(会長) : 私も長い間、自治会長を務めさせていただきましたが、少し変わったことがありました。私の町内は、実は世帯数が増えています。理由を考えてみると、マンションが建設され、そこに小さい子ども達

もいる世帯が増えています。ある世帯が挨拶に来られた時に、「学校選択制があるから、ここに引っ越してきました。」と言われ、それを聞いた時に、この方にどのように説明しようかと悩みました。もう一つは、私の聞いた話の中で、小学校から中学校に進学した際に常盤中のように、現在の就学学校が琴芝小と恩田小など、子どもの数が極端に違う場合は、その環境に慣れず、子ども達の心身に負担がかかり、子どもが落ち込んだケースもあったと聞いています。

また、ある若い自治会長がおられて、「縁があって近くに住んでいるわけだから、子ども達がこの先何十年と仲良く、楽しく過ごせる地域を作ろうと思って自治会長になりました。」と言われた方がおられました。その話を聞いた時に私は、非常に感動しました。当然近隣の親同士が仲良くなれば、自然と子ども同士も仲良くなってきますので、私自身もこういった地域作りもあるのかと感心したところです。形は違いますが、学校作りにおいても、こういった発想も参考になるのではないかと感じました。今後も地域全員が仲良く、楽しくなれるような小中一貫校を目指して尽力していきたいと思えます。

(会 長) : それでは、以上で本日の議事は終了とします。